

「模擬患者さんのためのコミュニケーション入門」を実施

9月20日、「成田キャンパス模擬患者の会」の講習会として、慶應義塾大学看護医療学部教授の杉本なおみ先生による講義『模擬患者さんのためのコミュニケーション入門』を実施しました。まず、ことばと意味は1対1の関係ではないこと、ことばと同時にことば以外の要素を使っていることなど、コミュニケーションの基本について説明があり、続いて、グループに分かれて、いくつかの条件のもとで話し手と聞き手を体験する実技を行いました。その結果、人それぞれ聞き方の癖があること、話し方が医師役の学生のストレスを招くことに気づくなど、模擬患者のスキルアップにとって有意義な講義となりました。



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学